

※以下の内容を記入し、**実験走行日から 5 日以内**に、メールに添付の上、事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 第 9 回実験走行会 2014/ 11/ 15(土)

ロボット No.: 1423

ロボット名: Cartis

チーム名: 電気通信大学

記載責任者: 柴田 優弥

- 1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)
人発見をしながらの自律走行実験

- 2 実験の具体的内容と成果

- 2.1 実験の具体的内容

- ・人探索ありのロボットの自律走行

- 2.2 実験成果

- ・人探索に関しては、第1探索エリアで、探索対象を発見したが、第2、3エリアでは見つけることができなかつた。

- ・自律走行では、走行途中に縁石にぶつかり終了した。

- 3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

- 3.1 自律走行の内容

- 人探索をしながらの自律走行実験

- 3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

- ・途中で障害物にぶつかりそうになり、停止させた。

- 3.3 残された課題

- ・探索人物の発見システムの精度向上

- ・低段差の検知

- 3.4 失敗した理由

- ロボット正面の縦振り URG では、低段差の認識がしづらい

- 3.5 確認走行を行った場合は、その記録

- 3.6 記録走行を行った場合は、その記録

- 第1エリアの探索対象のみを見つけ、完走した。

- 4 運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。